

# 小型LDL低減などで訴求

## シクロケム αオリゴ糖

する。

シクロケム(神戸市中央区)は、αオリゴ糖を機能性表示食品で表示できる小型LDL低減と、腸内バクテロイデス菌増加の2つの機能を主に訴求し、販売量拡大を図っている。

αオリゴ糖の小型LDL低減機能は小腸で発揮される。αオリゴ糖が消化液のレシチンを包接することで、レシチンによる消化物の乳化が抑えられる。中性脂肪も乳化されづらくなり、消化管から吸収されず、小型LDL低減に作用

を推奨している。

シクロケムでは、小型LDL測定試薬を昨年4月から国内で販売しているデンカと協業。「小型LDLが重大な血管疾患因子」と共に訴えている。昨年7月には日本動脈硬化学会が「動脈硬化性疾患予防ガイドライン」を改訂。通常のLDLよりも、小型LDLが動脈硬化の強力な危険因子と伝えている。これを受けシクロケムは、今後αオリゴ糖の機能が広まると見込み、クライアントへの利用

を推奨している。腸内バクテロイデス菌増加については、αオリゴ糖が小腸で全く分解されず、全て大腸まで届き善玉菌のエサになることで生じる。他のオリゴ糖や食物繊維は「難消化性」のため、一部分解されてしまう。αオリゴ糖は単一分子のため、消化酵素の影響を受けない。これにより増加したバク

テロイデス菌は、持久運動のパフォーマンス向上に繋がると示唆される。慶應義塾大学、青山学院大学らの

共同研究では、3000以上の走行タイムが速い陸上部員ほど、バクテロイデス菌の多いことが確認されている。この作用機序はシクロケムの動物試験で、αオリゴ糖摂取によるバクテロイデス菌増加に伴うプロピオン酸の増加が示されている。

また、プロピオン酸など短鎖脂肪酸が作られる時は、同時に水素が生成される。この水素は体内を巡って活性酸素を除去するため、DNA損傷抑制にも働きかける。

このほかαオリゴ糖は血糖値上昇抑制機能を持ち、機能性表示食品で表示可能となっている。